

令和5年度

# 教育学部編入学試験 学生募集要項

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況により、本要項に記載している選抜方法等を変更する場合があります。変更する場合は、可能な限り速やかに本学ホームページで公表します。

なお、出願等にあたっては、必ず本学ホームページにて最新情報を確認するようにしてください。

奈良教育大学ホームページ : <https://www.nara-edu.ac.jp/>

出願受付期間	令和4年7月29日（金）～令和4年8月4日（木）
試験期日	令和4年9月3日（土） 追試験 令和4年9月17日（土）
合格者発表日	令和4年9月22日（木）

奈良教育大学

# 目 次

I. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	1
II. 募集人員等	2
III. 出願資格	2
IV. 編入学の時期及び卒業要件等	2
V. 出願手続	
1. 出願書類等	2
2. 出願方法等	3
3. 出願上の留意事項	3
4. 受験票の送付	4
5. 選抜方法、配点、合格基準点等	4
6. 試験期日と時間	5
7. 試験場	5
8. 受験上の留意事項	6
9. 合格者の発表	6
10. 入学手続等	6
11. 既修得単位の認定について	7
VI. 新型コロナウイルス感染症への対応について	8
VII. 編入学追試験について	13
1. 募集人員及び対象者	13
2. 申請手続	13
3. 追試験受験許可書	14
4. 出願上の留意事項	14
5. 選抜方法、配点、合格基準点等	14
6. 試験期日と時間	16
7. 試験場	16
8. 受験上の留意事項	16
9. 合格者の発表	16
10. 入学手続等	17
11. 既修得単位の認定について	17
VIII. 受験上の配慮等に関する事前相談について	18
IX. 留意事項等	18
X. 出願書類記入上の注意	19

## (添付資料)

1. 編入学志願票
2. 受験票・写真票・検定料納付確認票
3. 編入学志望理由書
4. 出願用封筒表面
5. 検定料払込用紙
6. 宛名票
7. 令和5年度 奈良教育大学 教育学部編入学試験 追試験受験申請書
8. 自己申告書A、B、C

## I. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

奈良教育大学は、未来を担う子どもの育ちを支援し、学ぶ喜びを伝え、自らも人として成長したいという学生が集い、互いに学び合う場です。また、世界遺産をはじめ、数多くの貴重な文化財や豊かな自然に恵まれた環境のもと、小規模大学ならではのメリットを生かして、深い学びを実現します。

教員を目指し、ともに学ぶ仲間として、奈良教育大学教育学部では、次のような意欲と能力をもつ学生を求めます。

1. 子どもの成長と発達に寄り添い関わっていく意欲をもつ人
2. 教育を通じてよりよい社会を築いていく意欲をもつ人
3. 文化、科学、芸術に魅力を感じ、その価値を子どもに伝えるための思考力と表現力を磨きつづける意欲をもつ人
4. 他者の意見や気持ちを受けとめ、自分の意見や思いを表現し、他者と協働しながら課題の解決に立ち向かうことができる人
5. 教育学部で主体的に学ぶために必要な基礎的学力や技能をもつ人

編入学試験では、筆記試験（専門科目、小論文）、実技試験及び面接等の結果を総合して評価します。

## II. 募集人員等

### 募集する専修・履修分野等

専攻	専修・履修分野		募集人員	編入年次
教科教育専攻	理科教育専修	中等教育履修分野	1名	2年次編入
	保健体育専修	初等教育履修分野	若干名	
		中等教育履修分野		
	技術教育専修	中等教育履修分野	若干名	

※ 編入学試験では、申請があった場合に追試験を行います。（13 ページ「VII. 編入学追試験について」参照）上記は、本試験と追試験を合わせた募集人員です。

## III. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者及び令和5年3月卒業見込みの者
- (2) 短期大学又は高等専門学校を卒業した者及び令和5年3月卒業見込みの者
- (3) 他の大学（修業年限4年以上の大学）に2年以上在学し、かつ62単位以上を修得した者
- (4) 令和5年3月の時点において、他の大学（修業年限4年以上の大学）に2年以上在学する見込み、かつ62単位以上を修得見込みの者
- (5) その他、本学において前記(3)と同等以上の学力があると認められた者

(注) 出願資格(5)により出願しようとする者は、令和4年7月13日（水）までに入試課へご相談ください。

## IV. 編入学の時期及び卒業要件等

編入学の時期は、令和5年4月1日とし、編入学後の卒業要件単位数は、既修得単位として認定された単位と合わせて本学所定の単位数（134単位）を修得しなければなりません。

## V. 出願手続

### 1. 出願書類等

書 類 等	提出該当者	様 式	摘 要
1 編入学志願票	全 員	本学所定	19ページの「X. 出願書類記入上の注意」をよく読んで所要事項を漏れなく記入してください。
2 受験票・写真票	全 員	本学所定	所定の用紙に必要な事項を記入してください。受験票の裏面には、 <b>323円分の郵便切手（速達郵便料金）</b> を貼付の上、郵便番号・住所・氏名を記入してください。写真票には、出願前3か月以内に撮影した縦4cm×横3cmの上半身・脱帽・正面向きの写真を貼付してください。
3 編入学志望理由書	全 員	本学所定	編入学を志望する理由、入学後の学習計画について記入してください。

4	成績証明書	全員	出身大学長又は学部長等が作成し、 <u>厳封</u> したもの	「Ⅲ. 出願資格」の(1)、(2)に該当する者のうち、令和5年3月卒業見込みの者及び、「Ⅲ. 出願資格」の(4)に該当する者は、修得済みの科目に係る証明書及び <u>履修中の科目がある場合は、その旨を明記した証明書（履修科目登録確認表等）</u> を提出してください。
5	卒業証明書（又は卒業見込証明書）	「Ⅲ. 出願資格（1）、（2）」に該当する者	出身大学長又は学部長等が作成したもの	
6	在学期間証明書	「Ⅲ. 出願資格（3）、（4）」に該当する者	出身大学長又は学部長等が作成したもの	
7	宛名票	全員	本学所定	<u>合格通知書を受け取る場所</u> の郵便番号、住所、氏名を記入してください。
8	検定料 (30,000円)	全員		郵便局・ゆうちょ銀行窓口で納付し、「振替払込受付証明書(大学提出用)」を検定料納付確認票に貼付してください。納付手数料は、入学志願者の負担とします。 (注)ATMでは「振替払込受付証明書」が発行されませんので必ず窓口で納付してください。

## 2. 出願方法等

志願者は、出願書類等を取り揃え、下記の出願期間内に、角形2号の封筒に「出願用封筒表面」を貼付し、「簡易書留速達便」により送付してください（郵送に限る。）。

### ① 出願期間

令和4年7月29日（金）から令和4年8月4日（木）まで（郵送に限る。）  
（令和4年8月4日（木）消印有効とします。）

### ② 送付先

〒630-8528 奈良市高畑町 奈良教育大学 入試課

## 3. 出願上の留意事項

- ① 出願書類等受理後の記載事項の変更は認めません。ただし、願書を提出した後に、合格通知等受信場所及び連絡先を変更した時は、ただちに、その旨を入試課へ届け出てください。
- ② 出願書類等に不備がある場合は、受理しません。
- ③ 受理した出願書類等は、いかなる理由があっても返還しません。
- ④ 出願書類に虚偽の記載が発見された場合は、入学許可を取り消すことがあります。
- ⑤ 既納の検定料は、次の場合を除き、返還しません。  
ア. 検定料を払い込んだが、出願しなかった場合又は出願が受理されなかった場合  
イ. 検定料を誤って二重に払い込んだ場合  
なお、上記ア又はイに該当する場合には、すみやかに入試課へ連絡してください。
- ⑥ 出願書類の記入方法は、19 ページ「X. 出願書類記入上の注意」を参照してください。

#### 4. 受験票の送付

(1) 受験票は、出願期間終了後、本人宛に送付します。

なお、受験票が、令和4年8月24日(水)までに到着しない場合は、入試課へお問い合わせください。

(2) 試験当日及び入学手続の際に、受験票が必要となるため、紛失、汚損等のないよう大切に保管してください。

#### 5. 選抜方法、配点、合格基準点等

(1) 選抜方法、配点、合格基準点

入学者の選抜は、筆記試験(専門科目、小論文)、実技試験及び面接等の結果を総合して行います。なお、各専修における試験科目等、配点及び合格基準点は下表のとおりとします。

専攻・専修名	試験科目等	配点 ※カッコ内は内訳	合格基準点
教科教育専攻・理科教育専修 (中等教育履修分野)	専門科目(物理・化学・生物・地学から1科目を出願時に選択)、面接	400点(専門科目200点、面接200点)	総点の6割(240点)
教科教育専攻・保健体育専修 (初等教育履修分野) (中等教育履修分野)	実技試験、 小論文、面接	100点(実技試験30点、小論文30点、面接40点)	総点の7割(70点)
教科教育専攻・技術教育専修 (中等教育履修分野)	小論文、面接	400点(小論文200点、 面接200点)	小論文、面接の各得点について、配点の6割(小論文120点、面接120点)

(2) 試験内容

○教科教育専攻

【理科教育専修】

〔専門科目〕

物理、化学、生物、地学のうち1科目を選択し、高校及び大学初年度程度の内容に関する問題を解答させます。

物理では、力学、熱力学、電磁気学、波動などについて、基本的な知識や具体例などを問います。

化学では、化学結合、酸・塩基、化学熱力学、化学平衡、反応速度などの中から選択問題を出题し、その定義と反応例について説明を求めます。

生物では、細胞、代謝、遺伝、生殖、生態、進化などの中から、基本的な知識や具体例などを問います。

地学では、地球の内部と地表面の変動、大気と水の循環及び宇宙の現象に関する基本的な内容について、論述形式で出题します。

〔面接〕

編入を希望する動機や教職への意欲と、これまでに学んできたこととの関連、また「専門科目」の筆記試験の内容やそれに関わる知識について問います。さらに、自然科学における基本的な法則や単位など、自然についての見方・考え方等についても問う場合があります。それらにもとづいて教員としての資質を総合的に評価します。

## 【保健体育専修】

### 〔実技試験〕

ボール運動、器械運動（鉄棒運動及びマット運動）を実施します。

### 〔小論文〕

学校体育、健康教育、生涯スポーツ等に関する問題を出題し、記述の論理性、発想の豊かさ、文章表現力を総合的に評価します。

### 〔面接〕

本学を志望した動機、編入学後の学習計画、体育及び保健に関する知識、教職への意欲について問い、教員としての資質、学習意欲等を総合的に評価します。

## 【技術教育専修】

### 〔小論文〕

技術、ものづくりに関する考え方、発想などを問う問題を出題し、記述の論理性、発想の豊かさ、文章表現力などを総合的に評価します。

### 〔面接〕

本専修を志望した動機や教職への意欲、教科内容に関する知識などについて問い、意欲・関心・知識・表現力などを総合的に評価します。

## 6. 試験期日と時間

### (1) 試験期日

令和4年9月3日（土）

### (2) 試験時間割

専攻・専修名	時間	試験科目
教科教育専攻・理科教育専修	13:00～14:00	専門科目
	専門科目終了後	面接
教科教育専攻・保健体育専修	13:00～14:00	小論文
	小論文終了後	面接
	面接終了後	実技試験
教科教育専攻・技術教育専修	13:00～14:30	小論文
	小論文終了後	面接

※集合場所等は、試験当日、講義2号棟に掲示します。試験開始20分前までに集合してください。

## 7. 試験場

奈良教育大学（奈良市高畑町）

近鉄奈良駅・JR奈良駅から市内循環バス乗車「高畑町たかばたけちょう（奈良教育大学）」下車（裏表紙参照）

## 8. 受験上の留意事項

- (1) 試験当日は、「奈良教育大学教育学部編入学試験受験票」を必ず持参してください。万一、受験票を忘れた場合又は紛失した場合は、ただちに、試験場本部へ申し出てください。
- (2) 試験当日は、自動車、単車、自転車での本学構内への乗り入れを禁止します。また、大学周辺には乗降のために停車できる場所がありませんので、自動車による送迎は自粛し、公共交通機関等を利用してください。近隣店舗駐車場や周辺路上にて送迎目的での駐停車はしないでください。
- (3) 試験室に入室するまでに、携帯電話等のアラーム設定を解除した上で、必ず電源を切ってください。
- (4) 試験開始後 30 分を経過して遅刻した者は受験することができません。ただし、面接及び実技試験については開始時刻に遅刻した者は受験することができません。時間帯によっては、「市内循環バス」の運行に遅れが生じることがあります。あらかじめ経路、所要時間を確認の上、十分な時間の余裕をもって試験場に到着してください。
- (5) 試験開始後は、終了するまで途中退室は認めません。トイレ等による退室は監督者の指示を受けてください。なお、トイレ等の一時退室による試験時間の延長は行いません。
- (6) 受験者の持ち物は、筆記用具（黒又は青のボールペン、黒鉛筆、シャープペンシル、鉛筆削り、消しゴム）、腕時計（計時機能だけのもの）とします。  
なお、教科教育専攻・保健体育専修を受験する者は、必ず次の物を持参してください。  
・運動靴（屋内用）・運動服、必要に応じて雨具（傘など）・飲料水

## 9. 合格者の発表

令和4年9月22日（木）午前10時

合格発表日に本学ホームページ (<https://www.nara-edu.ac.jp/>) 上で合格者受験番号を速報すると同時に、合格通知書を合格者本人に郵送します。ホームページ上の合格速報は、情報提供サービスの一環として掲載するものであり、正式には合格通知書で確認してください。

なお、電話などによる照会には一切応じられません。

## 10. 入学手続等

合格者には、合格発表後、入学に必要な書類を送付するとともに、その他入学手続に必要な事項を通知します。

### (1) 入学手続日

令和4年10月6日（木）午後5時 郵送必着

### (2) 納付金

① 入学料 282,000 円（予定額）

② 入学時諸費用 41,120 円

（内訳：後援会費 30,000 円、同窓会費 8,000 円、学生教育研究災害傷害保険等 3,120 円）

（注）ア．既納の入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

イ．授業料については、前期分は5月末まで、後期分は11月末までに納入いただきます。

納入手続の詳細については、合格者に配付する「入学手続要領」によりお知らせします。

（参考） 授業料 年額 535,800 円（前期 267,900 円 後期 267,900 円）（予定額）

ウ．上記の入学料及び授業料は、令和4年度入学者の金額であり、令和5年度入学者については、変更する場合があります。

エ．在学中に授業料の改定を行った場合は、改定時から新授業料が適用されます。

オ．入学時諸費用（上記②）を納入した者が、令和5年3月31日までに入学を辞退した場合には、納入した者の申し出により返還します。

カ．詳細については、合格者に配付される「入学手続要領」を参照してください。

### (3) 留意事項

- ① 「Ⅲ. 出願資格の(4)」に該当する者で、令和5年3月までに所定の要件を満たす見込みで受験し合格した者が、入学手続までに所定の要件を満たすことができなかった場合は、入学を許可しません。
- ② 入学手続日に入学手続を完了していない場合は、本学への入学意思がなく、入学を辞退したものと取り扱います。

## 11. 既修得単位の認定について

編入学試験合格者については、入学時に以下の単位が自動的に単位認定されます。

本学の教育課程に基づく科目区分	包括認定単位数
共通科目 教養科目（「ESD 概論」、「ESD-SDGs 基礎論」を除く）	10 単位
専修専門科目等 「大学での学び入門（1 単位）」 「専修基礎ゼミ（2 単位）」	3 単位
自由科目	10 単位
合 計	23 単位

また、以上の単位のほか、本学が教育上有益と認めるときは、本学に入学する前に他の大学及び短期大学（外国の大学又は短期大学を含む。）、高等専門学校において履修した授業科目について修得した単位は、所定の基準により、本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができます。

（既修得単位の認定条件）

本学で開設している授業科目と同一授業科目又は授業内容が同一のものである場合に限り、審議のうえ本学の授業科目の単位数で認定します。ただし、他の大学及び短期大学、高等専門学校で修得した単位数がそれに満たない場合は認定できません。また、認定を受けようとする科目が、教育職員免許法施行規則（昭和 29 年文部省令第 26 号）に定める科目のうちの領域に関する専門的事項に関する科目、教科に関する専門的事項に関する科目及び養護に関する科目以外の科目である場合は、認定課程を有する大学（授与を受けようとする普通免許状に係る学校に相当する学校の教員を養成する外国の大学を含む。）において修得した単位に限り認定することができます。

## VI. 新型コロナウイルス感染症への対応について

令和5年度大学入学者選抜に係る新型コロナウイルス感染症に対応した試験実施のガイドライン（令和4年6月3日付け大学入学者選抜協議会決定）（以下「ガイドライン」という。）等を踏まえ、教育学部編入学試験受験にあたっての新型コロナウイルス感染症予防対策等については、下記のとおりとします。

受験生のみなさんは、試験当日まで感染予防と体調管理に努めてください。また、【試験当日までの対応】等について必ず確認の上、遺漏のないようよろしくお願いいたします。

なお、下記事項に変更等がある場合は、本学ホームページでお知らせしますので、最新の情報に注意してください。

<編入学試験を受験することができない者（追試験申請対象者）>

次の各項目に該当する場合は、受験することができません。「編入学追試験」の受験を申請してください。（13ページ参照）

- ① 新型コロナウイルス感染症に罹患し、試験日に入院中又は自宅や宿泊施設において療養中の者
- ② 試験当日、健康状態チェックリスト（12ページ参照）による確認の結果、A欄で1項目以上又はB欄で2項目以上該当する者
- ③ 保健所等から濃厚接触者に該当するとされた者※（保健所からの連絡が感染者等から間接的に伝達された者を含む）

※無症状の濃厚接触者から受験希望の申し出があり、決められた要件を満たしている場合は、原則として当初試験日での受験を認めることとします。（下記、【無症状の濃厚接触者への対応】を参照してください。）

- ④ 海外から日本へ入国後の待機期間中の者

### 【試験当日までの対応】

- 日頃から、換気、手洗いや手指の消毒、マスク等の咳エチケットの徹底、身体的距離の確保、「三つの密」の回避等を行うとともに、混み合った場所への外出は極力自粛するなど、感染防止に努めてください。また、バランスのとれた食事、適度な運動、休養、睡眠など、体調管理を心がけてください。
- 試験日の7日程度前から、朝などに体温測定を行うとともに、12ページの健康状態チェックリストを活用し、体調の変化の有無を確認してください。
- 試験日の1週間程度前から、発熱、咳等の症状がある受験生は、あらかじめ医療機関を受診してください。
- ガイドラインにおいて、他の疾患の罹患等のリスクを減らすため、各自の判断において、予防接種を受けておくことが望ましいとされています。
- 新型コロナウイルス感染症に罹患するなど、「編入学追試験」申請対象者に該当する場合は、申請受付期間内に必要な申請手続を行ってください。（追試験申請対象者、申請方法等については13ページ参照）

### 【無症状の濃厚接触者への対応】

- 無症状の濃厚接触者※から受験希望の申し出があり、次のいずれの要件も満たしている場合は、原則として受験を認めることとします。なお、終日別室受験となることから、面接及び実技の方法等が変更となる場合があります。

※濃厚接触者とは、保健所より濃厚接触者に該当すると伝えられた者を指します。（保健所からの連絡が感染者等から間接的に伝達された者を含む）。

ただし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況等によっては、「編入学追試験」の受験申請を案内する場合があります。

- ① 初期スクリーニング（自治体又は自治体から指示された医療機関が実施するPCR等の検査※1（行政検査））の結果（一般のクリニック等での検査では受験要件は満たしません。）、陰性であること。※2

※1 初期スクリーニングの検査実施後、検査結果が判明するまでは受験することができないため、その場合は「編入学追試験」の受験を申請してください。（13ページ参照）

※2 保健所業務の逼迫により、初期スクリーニングが実施できない自治体の受験者についてはこの限りではありません（下記の②、③の要件を満たしており、かつ、抗原定性検査キットにより陰性確認を行った上で、発熱・咳等の症状がない場合（当該キットが入手できない場合は、発熱・咳等の症状がないことを十分に確認できる場合）に限り、下記④の対象とします。）。

- ② 試験当日も無症状であること。（試験当日、受付で必ず係員に申し出ること。）  
③ 公共の交通機関（電車、バス、タクシー、航空機（国内線）、旅客船等）を利用せず、かつ、人が密集する場所を避けて試験場に来ることができること。（試験当日、自家用車等※3を利用して試験場に来場することを認めます。）

※3 自家用車、レンタカー、親戚・知人による送迎、バイク、自転車のほか、以下の条件等のもと利用するタクシー、ハイヤー、海上タクシーについて、利用可能です。なお、いずれの対応を行う際にも、感染防止策を徹底していることが必要です。

- 1) 業界団体が策定した感染対策ガイドライン等に基づき、感染対策を講じている車両等を利用すること（例：マスク着用、アクリル板やビニールカーテン等の飛沫対策、換気、助手席に座らないこと 等）。
- 2) 利用車両等が特定できるよう、行政検査が陰性・無症状である濃厚接触者であることを告げた上で、予約を行い、他の乗客と乗り合わせせずに利用すること（流しのタクシーは利用しないこと）。

- ④ 終日、別室で受験すること。

- 無症状の濃厚接触者からの受験希望の申し出は、「**試験前日の午前10時まで**」、入試課で受け付けます。受験希望の申し出は、**必ず事前に電話連絡**の上、次の事項について「自署した書面（様式任意）」をFAX又はE-mail（PDFデータ添付）で、入試課に送付してください。E-mailの場合は件名を「無症状濃厚接触者受験希望」としてください。なお、FAX又はE-mailの送信後、入試課へ電話連絡し、書類等が到着しているか必ず確認してください。

〔申出時に報告が必要な事項〕

- ・受験番号及び氏名
- ・受験予定専攻・専修・履修分野名
- ・連絡先（住所、電話番号（自宅及び携帯））
- ・濃厚接触者に該当すると判断した保健所の名称
- ・保健所から濃厚接触者に該当すると連絡があった日
- ・保健所から健康観察期間として不要不急の外出を控えるよう指示されている期間
- ・初期スクリーニング（自治体又は自治体から指示された医療機関が実施するPCR等の検査（行政検査））の結果（一般のクリニック等での検査では受験要件は満たしません。）
- ・試験当日の試験場への来場方法（自家用車（車種及び車両番号を明記）等）
- ・試験当日の緊急連絡先（氏名、続柄及び連絡先（携帯番号））

【マスクの着用が困難な者への対応】

- 感覚過敏等により、試験当日にマスクを正しく着用することが困難な者は、「受験上の特別な措置（別室受験）」について、**必ず入試課に電話連絡**の上、事前に相談してください。なお、終日別室受験となる

ことから、面接及び実技の方法等が変更となる場合があります。

正しくマスクを着用することが困難である旨、事前に相談がなかった者については、マスクを正しく着用しないままでの当日の受験は認めませんので、十分注意してください。

[相談の期日]

令和4年7月11日(月)から令和4年7月13日(水)まで(必着)

[相談の方法]

次の事項について「自署した書面(様式任意)」に「医師の診断書」を添付し、上記「相談の期日」までに入試課宛に提出してください。

- ・受験番号、氏名及び出身学校
- ・受験予定専攻・専修・履修分野名
- ・受験上の特別な措置を希望する事項(マスクの着用が困難であること及び別室受験を希望することを明記してください。)
- ・出身学校でとられていた特別な措置等
- ・連絡先(住所、電話番号(自宅及び携帯))

#### 【試験当日の対応】

- 試験当日の朝、必ず検温を行うとともに、12ページの健康状態チェックリストにより、体調の変化の有無を確認してください。確認の結果、健康状態チェックリストのA欄で1項目以上又はB欄で2項目以上該当する場合は受験することができませんので、医療機関を受診してください。この場合、「編入学追試験」の受験を申請することができますので、申請受付期間内に必要な申請手続を行ってください。

(13ページ参照)

なお、上記に該当しないものの、発熱や咳等の症状のある受験生は、試験会場受付において、その旨係員に必ず申し出てください。

- 試験日に息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱等の強い症状のいずれかがある場合、基礎疾患等により重症化しやすい受験者が発熱・咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合の他、発熱・咳などの比較的軽い風邪の症状が続く場合は、試験日の対応等について、かかりつけ医や「受診・相談センター」(地域により名称が異なることがある。)に相談するとともに、追試験等の受験を検討してください。
- 各自マスク(予備のマスクを含む。)を持参し、試験会場では昼食時以外は常にマスクを正しく着用してください(鼻と口の両方を確実に覆うこと)。ただし、本人確認のために行う写真照合の際には、監督者からの指示でマスクを一旦取り外していただく場合があります。なお、フェイスシールド及びマウスシールドの着用では、受験することができません。

(参考) マスクの効果(厚生労働省HPより)

[https://corona.go.jp/proposal/pdf/mask\\_kouka\\_20201215.pdf](https://corona.go.jp/proposal/pdf/mask_kouka_20201215.pdf)



(参考) 正しいマスクの付け方(厚生労働省HPより)

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000593493.pdf>



<https://www.youtube.com/watch?v=VdyKX4eYba4>



- 休憩時間や入退室時等における他者との接触や会話は極力控え、自席以外に座らないでください。
- トイレを使用する場合は、フロアの誘導表示に従うなど混雑を避けて使用し、会話を極力避け、使用後の手洗いを徹底してください。また、手洗い後に使用するハンカチ、ハンドタオル等は各自持参してください。
- 監督者等の試験実施関係者もマスク等を正しく着用します。なお、監督者の指示が聞き取りづらい場合は申し出るようにしてください。
- 試験会場には、「手指消毒用アルコール液」を設置しますので、試験室への入退室を行うごとに、必ず手指の消毒を行ってください。
- 何らかの事情により、手指消毒用アルコール液等を使用することが難しい場合は、受験者自身でこれに代わるものを準備し、手指消毒を行うようにしてください。
- 試験室の換気を行うため、窓の開放等を行う場合があります。換気中は、一時空調が効きづらくなる場合がありますので、上着等で調整ができるよう予め準備しておいてください。
- 試験時間中に、明らかに激しい咳を何度もしているなど、他の受験者に影響があると監督者が判断した場合には、咳をしている受験者の受験を中断して休養室等へ移動してもらい、症状等の確認後、追試験の受験を申請してもらうことがあります。

#### 【試験終了後の対応】

- 試験室からの退室は、監督者の指示に従ってください。
- 試験会場ではマスクを廃棄しないでください。使用済みのマスクは、ビニール袋に入れるなど、必ず持ち帰ってください。
- 試験終了後は、他者との接触、会話は極力控え、なるべくまっすぐ帰宅し、帰宅後は手や顔を洗うようにしてください。
- 試験終了後1週間以内に新型コロナウイルス感染症に罹患したことが判明した場合は、入試課へ連絡してください。

#### 【その他】

- 試験場への入場者数や集団の形成を抑制する観点から、試験当日、原則として付添人控室は設置しませんのでご注意ください。(ただし、受験にあたって、受験生への付き添いが必要と本学が認めた場合を除きます。)
- ガイドラインにおいて、「新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA：COVID-19 Contact Confirming Application）」は、利用者が新型コロナウイルス感染症の陽性者と接触した可能性がある場合に通知を受けることができ、その後の検査の受診など保健所のサポートを早く受けることができることから、このアプリを活用することが望ましいとされています。なお、通知を受けたことが直ちに濃厚接触者であることを意味するものではありませんので、注意してください。



## VII. 編入学追試験について

新型コロナウイルス感染症に罹患した（その疑いを含む。）入学志願者の受験機会を確保するため、編入学試験では、志願者より申請があった場合に追試験を行います。

なお、追試験の追試験は実施しません。

### 1. 募集人員及び対象者

#### (1) 募集人員

専攻	専修・履修分野		募集人員	編入年次
教科教育専攻	理科教育専修	中等教育履修分野	1名	2年次編入
	保健体育専修	初等教育履修分野	若干名	
		中等教育履修分野		
	技術教育専修	中等教育履修分野	若干名	

※ 上記は、本試験と追試験を合わせた募集人員です。

#### (2) 追試験申請対象者

編入学出願者で、下記のいずれかに該当する者とします。

- ①新型コロナウイルス感染症に罹患し、試験日に入院中又は自宅や宿泊施設において療養中の者
- ②試験当日、健康状態チェックリスト（12ページ参照）による確認の結果、A欄で1項目以上又はB欄で2項目以上該当する者
- ③保健所等から濃厚接触者に該当するとされた者※（保健所からの連絡が感染者等から間接的に伝達された者を含む）

※無症状の濃厚接触者から受験希望の申し出があり、決められた要件を満たしている場合は、原則として当初試験日での受験を認めることとします。詳細は8ページ【無症状の濃厚接触者への対応】を参照してください。

- ④海外から日本へ入国後の待機期間中の者

### 2. 申請手続

#### (1) 申請受付期間

令和4年9月2日（金） 午前9時から午後5時（試験前日）

令和4年9月3日（土） 午前9時から午後1時30分（試験当日）

#### (2) 追試験申請に必要な書類

- ・ 本学受験票（写）
- ・ 追試験受験申請書（本学所定の様式に必要事項を記入してください。）
- ・ 添付書類（下表のいずれかの書類を必ず添付してください）

添付書類	備考
自己申告書A	「1. 募集人員及び対象者」(2) 追試験申請対象者の①又は②に該当する場合は、本学所定の様式に必要事項を記入してください。
自己申告書B	「1. 募集人員及び対象者」(2) 追試験申請対象者の③に該当する場合は、本学所定の様式に必要事項を記入してください。

自己申告書C	「1. 募集人員及び対象者」(2) 追試験申請対象者の④に該当する場合は、本学所定の様式に必要事項を記入してください。
--------	---

### (3) 申請方法

1. 本人又は代理人より、必ず入試課へ電話連絡をしてください。
2. 申請受付期間内に上記(2)の追試験申請に必要な書類を入試課宛にFAX又はE-mail(PDFデータ添付)で、送付してください。E-mailの場合は件名を「追試験申請」としてください。
3. FAX又はE-mailの送信後、入試課へ電話連絡し、申請書等が到着しているか確認してください。
4. 3.の確認後、速やかに受験票を除く書類原本を本学入試課宛に簡易書留速達便で郵送してください。申請受付期間翌日の発信局(日本国内)消印のあるものまで受理します。なお、封筒の表面に「編入学追試験受験申請書在中」と朱書きしてください。  
 ※ FAX又はE-mailで受信した内容と原本に相違がある場合は受理しません。  
 ※ 試験当日に試験科目を1つでも受験した者は、原則として追試験の対象とはなりません。

本件連絡先 奈良教育大学入試課

TEL	0742-27-9293
FAX	0742-27-9145
E-mail	nyuusi@nara-edu.ac.jp

### 3. 追試験受験許可書

受験を許可する場合は、追試験受験許可書を郵送します。試験当日に必ず持参してください。

### 4. 出願上の留意事項

- ① 出願書類等受理後の記載事項の変更は認めません。ただし、願書を提出した後に、合格通知等受信場所及び連絡先を変更した時は、ただちに、その旨を入試課へ届け出てください。
- ② 出願書類等に不備がある場合は、受理しません。
- ③ 受理した出願書類等は、いかなる理由があっても返還しません。
- ④ 出願書類に虚偽の記載が発見された場合は、入学許可を取り消すことがあります。
- ⑤ 既納の検定料は、次の場合を除き、返還しません。  
 ア. 検定料を払い込んだが、出願しなかった場合又は出願が受理されなかった場合  
 イ. 検定料を誤って二重に払い込んだ場合  
 なお、上記ア又はイに該当する場合には、すみやかに入試課へ連絡してください。
- ⑥ 出願書類の記入方法は、19ページ「X. 出願書類記入上の注意」を参照してください。

### 5. 選抜方法、配点、合格基準点等

#### (1) 選抜方法、配点、合格基準点

入学者の選抜は、筆記試験(専門科目、小論文)、実技試験及び面接等の結果を総合して行います。なお、各専修における試験科目等、配点及び合格基準点は下表のとおりとします。

専攻・専修名	試験科目等	配点 ※カッコ内は内訳	合格基準点
教科教育専攻・理科教育専修 (中等教育履修分野)	専門科目(物理・化学・生物・地学から1科目を出願時に選択)、面接	400点(専門科目200点、面接200点)	総点の6割(240点)

教科教育専攻・保健体育専修 (初等教育履修分野) (中等教育履修分野)	実技試験、 小論文、面接	100点(実技試験 30 点、小論文 30 点、面 接 40 点)	総点の 7 割 (70 点)
教科教育専攻・技術教育専修 (中等教育履修分野)	小論文、面接	400 点(小論文 200 点、 面接 200 点)	小論文、面接の各得点につ いて、配点の 6 割 (小論文 120 点、面接 120 点)

## (2) 試験内容

### ○教科教育専攻

#### 【理科教育専修】

##### 〔専門科目〕

物理、化学、生物、地学のうち 1 科目を選択し、高校及び大学初年度程度の内容に関する問題を解答させます。

物理では、力学、熱力学、電磁気学、波動などについて、基本的な知識や具体例などを問います。

化学では、化学結合、酸・塩基、化学熱力学、化学平衡、反応速度などの中から選択問題を出題し、その定義と反応例について説明を求めます。

生物では、細胞、代謝、遺伝、生殖、生態、進化などの中から、基本的な知識や具体例などを問います。

地学では、地球の内部と地表面の変動、大気と水の循環及び宇宙の現象に関する基本的な内容について、論述形式で出題します。

##### 〔面接〕

編入を希望する動機や教職への意欲と、これまでに学んできたこととの関連、また「専門科目」の筆記試験の内容やそれに関わる知識について問います。さらに、自然科学における基本的な法則や単位など、自然についての見方・考え方等についても問う場合があります。それらにもとづいて教員としての資質を総合的に評価します。

#### 【保健体育専修】

##### 〔実技試験〕

ボール運動、器械運動（鉄棒運動及びマット運動）を実施します。

##### 〔小論文〕

学校体育、健康教育、生涯スポーツ等に関する問題を出題し、記述の論理性、発想の豊かさ、文章表現力を総合的に評価します。

##### 〔面接〕

本学を志望した動機、編入学後の学習計画、体育及び保健に関する知識、教職への意欲について問い、教員としての資質、学習意欲等を総合的に評価します。

#### 【技術教育専修】

##### 〔小論文〕

技術、ものづくりに関する考え方、発想などを問う問題を出題し、記述の論理性、発想の豊かさ、文章表現力などを総合的に評価します。

##### 〔面接〕

本専修を志望した動機や教職への意欲、教科内容に関する知識などについて問い、意欲・関心・

知識・表現力などを総合的に評価します。

## 6. 試験期日と時間

### (1) 試験期日

令和4年9月17日(土)

### (2) 試験時間割

専攻・専修名	時間	試験科目
教科教育専攻・理科教育専修	13:00～14:00	専門科目
	専門科目終了後	面接

専攻・専修名	時間	試験科目
教科教育専攻・保健体育専修	13:00～14:00	小論文
	小論文終了後	面接
	面接終了後	実技試験

専攻・専修名	時間	試験科目
教科教育専攻・技術教育専修	13:00～14:30	小論文
	小論文終了後	面接

※集合場所等は、試験当日、講義2号棟に掲示します。試験開始20分前までに集合してください。

## 7. 試験場

奈良教育大学 (奈良市高畑町)

近鉄奈良駅・JR奈良駅から市内循環バス乗車「<sup>たかばたけちょう</sup>高畑町(奈良教育大学)」下車(裏表紙参照)

## 8. 受験上の留意事項

- (1) 試験当日は、「奈良教育大学教育学部編入学試験受験票」を必ず持参してください。万一、受験票を忘れた場合又は紛失した場合は、ただちに、試験場本部へ申し出てください。
- (2) 試験当日は、自動車、単車、自転車での本学構内への乗り入れを禁止します。また、大学周辺には乗降のために停車できる場所がありませんので、自動車による送迎は自粛し、公共交通機関等を利用してください。近隣店舗駐車場や周辺路上にて送迎目的での駐停車はしないでください。
- (3) 試験室に入室するまでに、携帯電話等のアラーム設定を解除した上で、必ず電源を切ってください。
- (4) 試験開始後30分を経過して遅刻した者は受験することができません。ただし、面接及び実技試験については開始時刻に遅刻した者は受験することができません。時間帯によっては、「市内循環バス」の運行に遅れが生じることがあります。あらかじめ経路、所要時間を確認の上、十分な時間の余裕をもって試験場に到着してください。
- (5) 試験開始後は、終了するまで途中退室は認めません。トイレ等による退室は監督者の指示を受けてください。なお、トイレ等の一時退室による試験時間の延長は行いません。
- (6) 受験者の持ち物は、筆記用具(黒又は青のボールペン、黒鉛筆、シャープペンシル、鉛筆削り、消しゴム)、腕時計(計時機能だけのもの)とします。  
なお、教科教育専攻・保健体育専修を受験する者は、必ず次の物を持参してください。  
・運動靴(屋内用)・運動服・雨具(傘など)・飲料水

## 9. 合格者の発表

令和4年9月22日(木)午前10時

合格発表日に本学ホームページ(<https://www.nara-edu.ac.jp/>)上で合格者受験番号を速報すると同時に、合格通知書を合格者本人に郵送します。ホームページ上の合格速報は、情報提供サービスの一環として掲載するものであり、正式には合格通知書で確認してください。

なお、電話などによる照会には一切応じられません。

## 10. 入学手続等

合格者には、合格発表後、入学に必要な書類を送付するとともに、その他入学手続に必要な事項を通知します。

### (1) 入学手続日

**令和4年10月6日(木) 午後5時 郵送必着**

### (2) 納付金

① 入学料 282,000円(予定額)

② 入学時諸費用 41,120円

(内訳：後援会費 30,000円、同窓会費 8,000円、学生教育研究災害傷害保険等 3,120円)

(注) ア. 既納の入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

イ. 授業料については、前期分は5月末まで、後期分は11月末までに納入いただきます。

納入手続の詳細については、合格者に配付する「入学手続要領」によりお知らせします。

(参考) 授業料 年額 535,800円(前期 267,900円 後期 267,900円)(予定額)

ウ. 上記の入学料及び授業料は、令和4年度入学者の金額であり、令和5年度入学者については、変更する場合があります。

エ. 在学中に授業料の改定を行った場合は、改定時から新授業料が適用されます。

オ. 入学時諸費用(上記②)を納入した者が、令和5年3月31日までに入学を辞退した場合には、納入した者の申し出により返還します。

カ. 詳細については、合格者に配付される「入学手続要領」を参照してください。

### (3) 留意事項

① 「Ⅲ. 出願資格の(4)」に該当する者で、令和5年3月までに所定の要件を満たす見込みで受験し合格した者が、入学手続までに所定の要件を満たすことができなかった場合は、入学を許可しません。

② 入学手続日に入学手続を完了していない場合は、本学への入学意思がなく、入学を辞退したものととして取り扱います。

## 11. 既修得単位の認定について

編入学試験合格者については、入学時に以下の単位が自動的に単位認定されます。

本学の教育課程に基づく科目区分	包括認定単位数
共通科目 教養科目(「ESD概論」、「ESD-SDGs基礎論」を除く)	10単位
専修専門科目等 「大学での学び入門(1単位)」 「専修基礎ゼミ(2単位)」	3単位
自由科目	10単位
合計	23単位

また、以上の単位のほか、本学が教育上有益と認めるときは、本学に入学する前に他の大学及び短

期大学（外国の大学又は短期大学を含む。）、高等専門学校において履修した授業科目について修得した単位は、所定の基準により、本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができます。

（既修得単位の認定条件）

本学で開設している授業科目と同一授業科目又は授業内容が同一のものである場合に限り、審議のうへ本学の授業科目の単位数で認定します。ただし、他の大学及び短期大学、高等専門学校で修得した単位数がそれに満たない場合は認定できません。また、認定を受けようとする科目が、教育職員免許法施行規則（昭和 29 年文部省令第 26 号）に定める科目のうちの領域に関する専門的事項に関する科目、教科に関する専門的事項に関する科目及び養護に関する科目以外の科目である場合は、認定課程を有する大学（授与を受けようとする普通免許状に係る学校に相当する学校の教員を養成する外国の大学を含む。）において修得した単位に限り認定することができます。

## VIII. 受験上の配慮等に関する事前相談について

疾病、障害またはその他の理由のために、受験上の特別な措置を必要とする者又は修学上の特別な配慮を必要とする者は事前に相談してください。

### 1. 相談の期日

令和 4 年 7 月 1 1 日（月）から令和 4 年 7 月 1 3 日（水）まで

### 2. 相談の方法

学長宛に次の事項を記載した相談書類（様式任意）を作成して提出してください。（理由が疾病、障害の場合は、医師の診断書を添付すること）。

なお、必要な場合は、本学において入学志願者又はその立場を代弁しえる出身学校関係者等との面談等を行います。

- （1）氏名及び出身学校名
- （2）疾病、障害その他の理由の種類、程度
- （3）志望専修・履修分野名
- （4）受験上の特別な措置を希望する事項
- （5）修学上の特別な配慮を希望する事項
- （6）出身学校でとられていた特別措置等の事項
- （7）日常生活の状況
- （8）連絡先（住所、電話番号等）

### 3. 提出先

〒630-8528 奈良市高畑町 奈良教育大学 入試課

## IX. 留意事項等

- （1）**本学の受験票は、入学手続等に必要ですので、紛失、汚損等のないよう大切に保管しておいてください。**
- （2）連絡事項があれば、本学ホームページに掲載します。
- （3）本学から受験のための宿泊施設等のあっせんは行いません。
- （4）本要項に関して不明な点がある場合には、入試課へお問い合わせください。
- （5）個人情報の利用について

提出された出願書類等で得た個人情報は、本学の入学者選抜に係る業務のほか以下の業務に利用します。なお、法令に基づく場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用すること又は第三者に提供することはありません。

- ① 合格者の受験番号、住所及び氏名等の個人情報を、入学手続に関わる業務に利用します。

- ② 入学手続者の受験番号、氏名、性別、生年月日、出身高等学校等の個人情報を学籍管理等の修学指導に関わる業務及び健康診断等の保健管理に関わる業務並びに厚生補導に関わる業務に利用します。
- ③ 入学者選抜で取得した入学手続者に関わる成績等の個人情報を、入学料免除、入学料徴収猶予、入学年次における授業料免除及び奨学生採用等の経済支援に関わる業務に利用します。
- ④ 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を、統計処理業務及び本学における入学者選抜方法の改善に関わる調査・研究に利用します。
- ⑤ 個人情報の保護に関する法令及びその他の規範を遵守します。

## X. 出願書類記入上の注意

### 1. 共通事項

- (1) 黒のボールペンを使用し、所要事項をもれなく正確に記入してください。不備のある場合は、受理しません。(インクを消せるボールペンは使用不可)
- (2) 記載した事項については、受付後の変更は認めません。
- (3) ※印欄は、記入しないでください。

### 2. 「編入学志願票」

- (1) 「性別」の欄は、該当する文字を○で囲んでください。
- (2) 「連絡先(合格通知等受信場所)」の欄は、大学側が出願書類の照会や連絡をとる場合、速やかに本人に伝達できる電話番号及び住所を記入してください。携帯電話をお持ちの場合は、携帯電話の番号も記入してください。出願後、連絡先を変更した場合は、ただちに入試課に届け出てください。
- (3) 「出願資格」の欄は、出身学校名等の必要事項を記入してください。
- (4) 「志願する専攻・専修・履修分野」の欄は、2ページの「Ⅱ. 募集人員等」の表により、志望する専攻・専修・履修分野に○を付してください。
- (5) 「専門科目」の欄は、筆記試験で受験する科目を1つ選択し○で囲んでください。(理科教育専修志願者のみ)

### 3. 「受験票」・「写真票」

- (1) 「性別」は、該当する文字を○で囲んでください。
- (2) 「志望専攻・専修・履修分野」の欄は、編入学志願票と同一のものを記入してください。
- (3) 「受験票」の「専門科目」の欄は、編入学志願票と同一のものを○で囲んでください。
- (4) 「受験票」の裏面には、323円分の郵便切手を貼付の上、郵便番号・住所・氏名を記入してください。
- (5) 「写真票」には、出願前3か月以内に撮影した縦4cm×横3cmの上半身・脱帽・正面向きの写真を貼付してください。

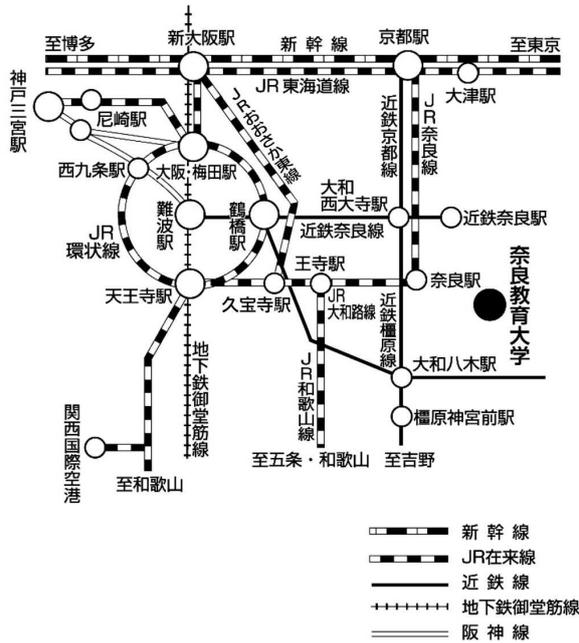
### 4. 「検定料納付確認票」

「検定料納付確認票」貼付欄には、郵便局・ゆうちょ銀行で検定料を納付したときに受け取る「振替払込受付証明書(大学提出用)」を貼付してください。(ATM(現金自動預け払い機)では、「振替払込受付証明書(大学提出用)」が発行されません。必ず、窓口で納付してください。)

### 5. 「宛名票」

「宛名票」は、出願者の氏名、郵便番号、住所を4箇所記入してください。

# 試験場への順路



## 京都駅から

近鉄京都線で近鉄奈良駅まで特急約35分、急行45分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

## 新大阪駅から

J R東海道本線で大阪駅へ、J R大阪環状線（外回り）で鶴橋駅へ、近鉄奈良線（快急・急行）で近鉄奈良駅まで約60分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

## 大阪駅から

J R大阪環状線（外回り）で鶴橋駅へ、近鉄奈良線（快急・急行）で近鉄奈良駅まで約50分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

## 難波駅から

近鉄奈良線（快急・急行）で近鉄奈良駅まで約35分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

## 天王寺駅から

J R大和路快速で、J R奈良駅まで約33分+市内循環バスで約15分「高畑町」下車すぐ  
J R大阪環状線（内回り）で鶴橋駅へ、近鉄奈良線（快急・急行）で近鉄奈良駅まで約45分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

## 神戸三宮駅から

阪神本線（快速急行）〔近鉄奈良行き〕で近鉄奈良駅まで約80分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

## 関西国際空港から

空港バスで近鉄奈良駅まで約90分+市内循環バスで約10分「高畑町」

## 問い合わせ先

〒630-8528 奈良市高畑町

奈良教育大学 入試課

電話 0742-27-9126

FAX 0742-27-9145

ホームページ <https://www.nara-edu.ac.jp/>

E-mail [nyuusi@nara-edu.ac.jp](mailto:nyuusi@nara-edu.ac.jp)